

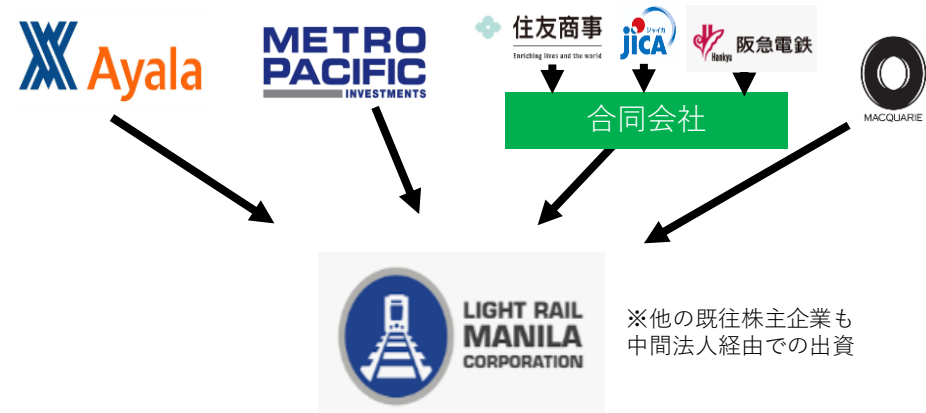
フィリピン LRT1号線運営維持管理改善事業（PE出資）

官民一体のインフラシステム輸出－売り切りから継続的関与への多様化の促進

事業概要

マニラ首都圏を南北に結ぶLRT1号線の既存設備の運営改善を通じて、マニラ首都圏及び近郊における都市交通の連結性強化と交通渋滞の緩和ひいては大気汚染・気候変動の緩和を目的とするもの。

JICAが海外投融資により本事業に出資参画することで、阪急電鉄の初の海外鉄道事業への出資を後押しする形になり、官民の架け橋として事業の円滑な実施を支援し、日本企業のインフラ分野におけるO&M事業の海外展開の促進、民間事業者によるLRT1号線の運営維持管理改善に貢献する役割が期待されている。



本事業のポイント

1. フィリピン初の鉄道PPP事業への日本の民間企業・鉄道事業者の参画

フィリピンの鉄道事業で現状唯一PPP事業として民間事業者による運営維持管理がされている路線に住友商事、阪急電鉄と共に事業参画。阪急電鉄の初の海外鉄道事業への参画を支援。既存株主であるフィリピン現地企業と日本企業の両国企業による共創を推進。

2. JICAの総合的支援による官民連携モデル

JICAはこれまでフィリピン政府に対する円借款の供与及び技術協力を通じて長きに亘りマニラ首都圏の鉄道整備を支援。円借款「LRT1号線増強事業(1)、(2)」にて輸送力の増強を実施、「マニラ首都圏大量旅客輸送システム拡張事業」にて車両の調達や車両基地の整備を実施中。これらの支援を土台として、本事業を通じてLRT1号線の更なる利便性・安全性の向上を後押しする。



■LRT1号線の概要
開業年：1984年
施設保有者：フィリピン運輸省傘下 Light Rail Transit Authority
※2015年より民間事業者LRMCが運営・保守を実施



延伸区間を試験走行する車両